

北部国道事務所における ヤンバルクイナロードキル対策

国道58号におけるヤンバルクイナの輪禍

●H14～22年において、国道58号におけるヤンバルクイナ輪禍は計21件発生。

●H20年:3月に1件、11月に1件の計2件の輪禍が発生。

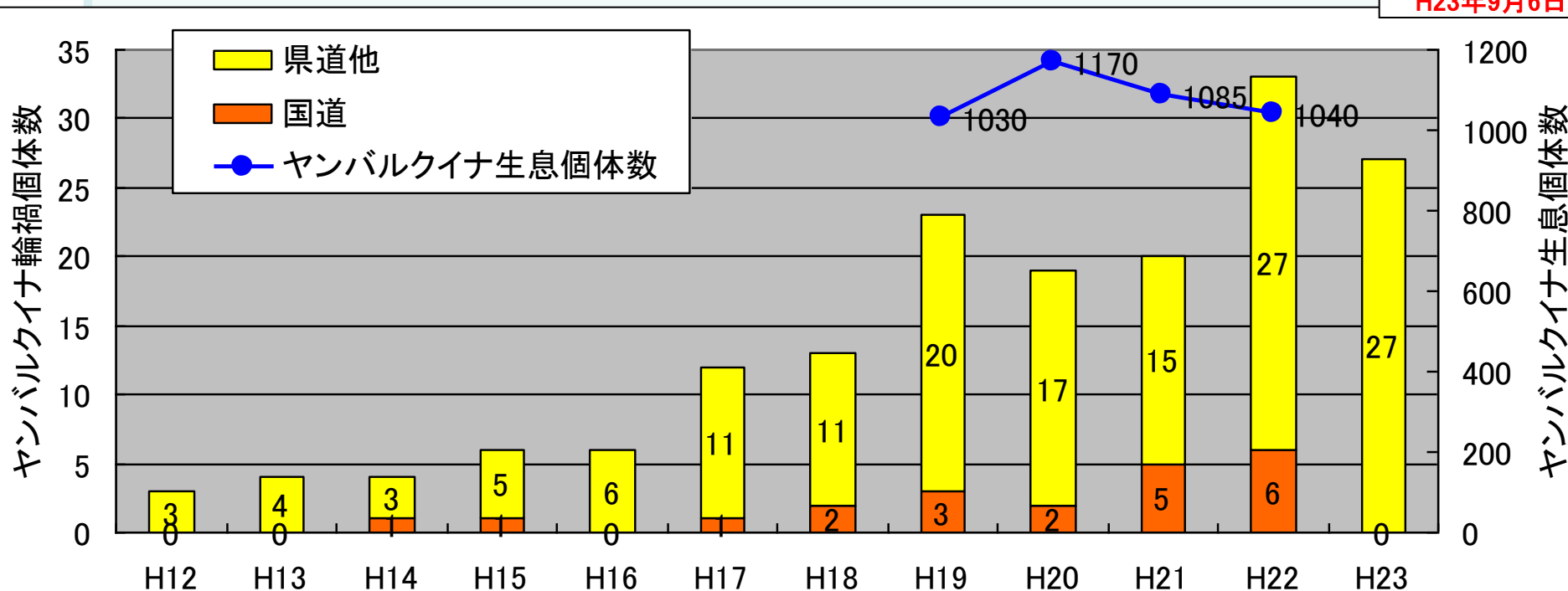
●H21年:4月に1件、5月に1件、6月に2件、8月に1件の計5件の輪禍が発生。

●H22年:6月に2件、7月に3件、10月に1件の計6件の輪禍が発生。

●H23年:9月6日現在、国道58号で輪禍は発生していない。

※これまでにクイナフェンス設置区間・設置中に輪禍は発生していない。

H23年9月6日現在



出典: やんばる野生生物保護センター ウフギー自然館ホームページ

「平成22年度ヤンバルクイナ生息状況把握調査業務報告書」 環境省那覇自然環境事務所

クイナフェンス設置状況

○クイナフェンス設置位置(国道58号 奥～辺戸間)

4.7kP付近
(約300m区間)

3.8kP付近
(約250m区間)

3.4kP付近
(約300m区間)

3.0kP付近
(約400m区間)

2.0kP付近
(約250m区間)

○クイナフェンスの基本構造

○クイナフェンス設置期間

【平成21年】

＜繁殖期全期間(3～9月)設置＞

- ・2.0kP付近(約250m)
- ・3.8kP付近(約250m)
- ・4.7kP付近(約300m)

＜繁殖後期(8～9月)に設置＞

- ・3.4kP付近(約300m)

【平成22年】

＜繁殖期全期間(3月～)設置＞

※撤去期間なし。現在も設置中。

【平成23年】

＜2月に設置＞

- ・3.0kP付近(約400m新設)

設置期間については検討中。

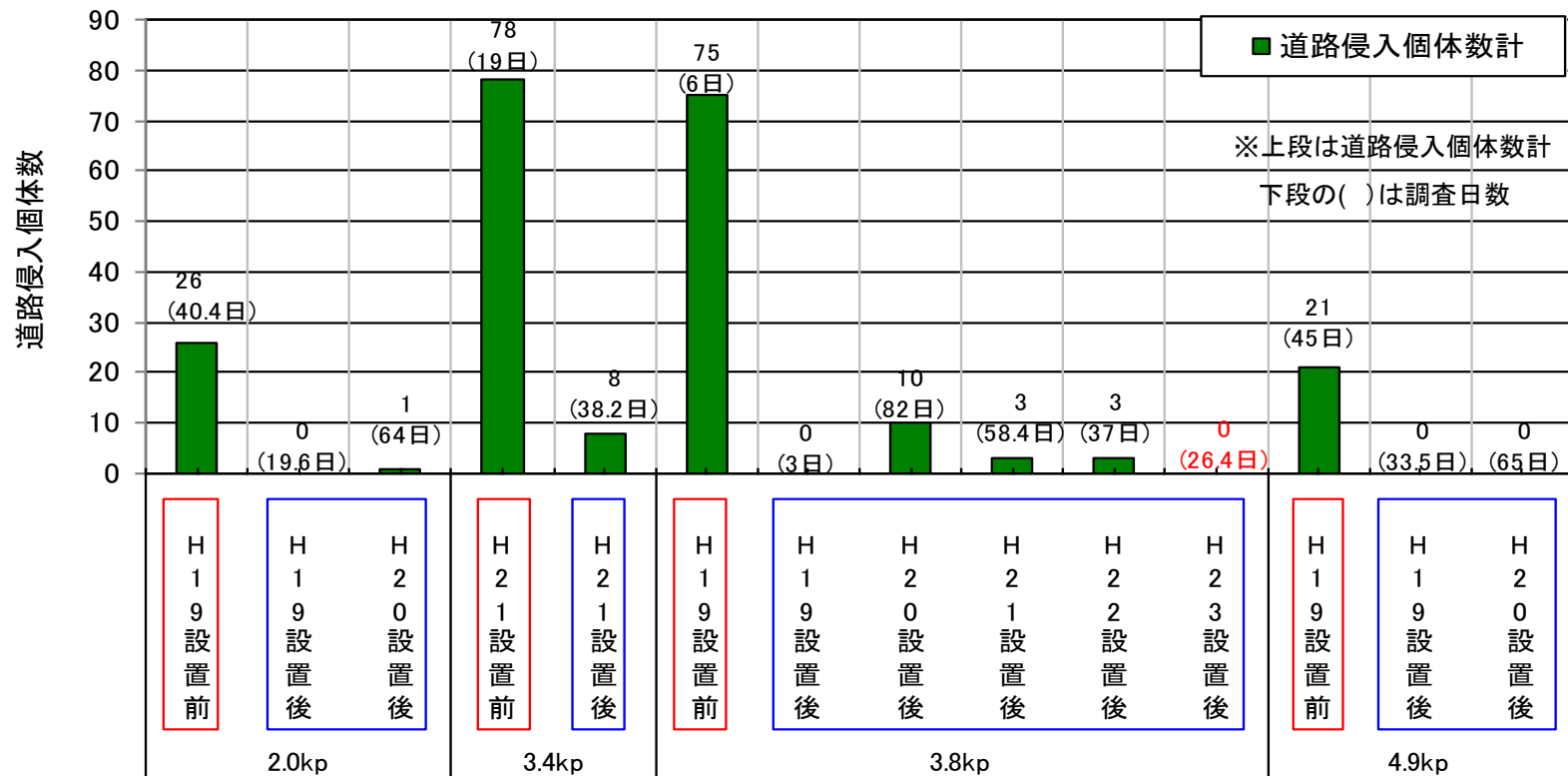
高さ
約1m

約80°

フェンス条件	基本構造
構造	自立タイプ、転落防止柵利用タイプ
素材	プラスチック製角目ネット
網目サイズ	10mm程度
色	緑、黒
高さ	約1m
傾斜	θ 80～90° 程度(地形条件等に応じて角度を選定)

クイナフェンス設置前後のヤンバルクイナ道路侵入数の変化

- クイナフェンス設置後の道路侵入例は、いずれも設置前より大幅に減少した。
- H23のクイナフェンス設置後は、モニタリングを実施した3.8kPでは道路への進入は確認されなかった。



クイナフェンス設置による移動分断の対策

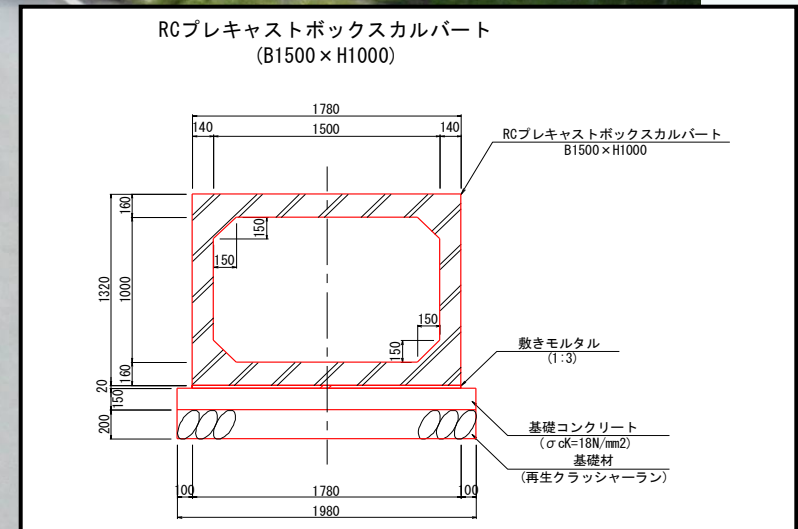
～道路下横断通路新設～

- クイナフェンス区間のうち、横断路となる既設の暗渠がない区間について、横断通路(クイナトンネル)を新設(H22. 1月完成)

クイナトンネル設置位置



道路面から1.2～1.7m下に設置
高さ1.0m、幅1.5m、延長12m

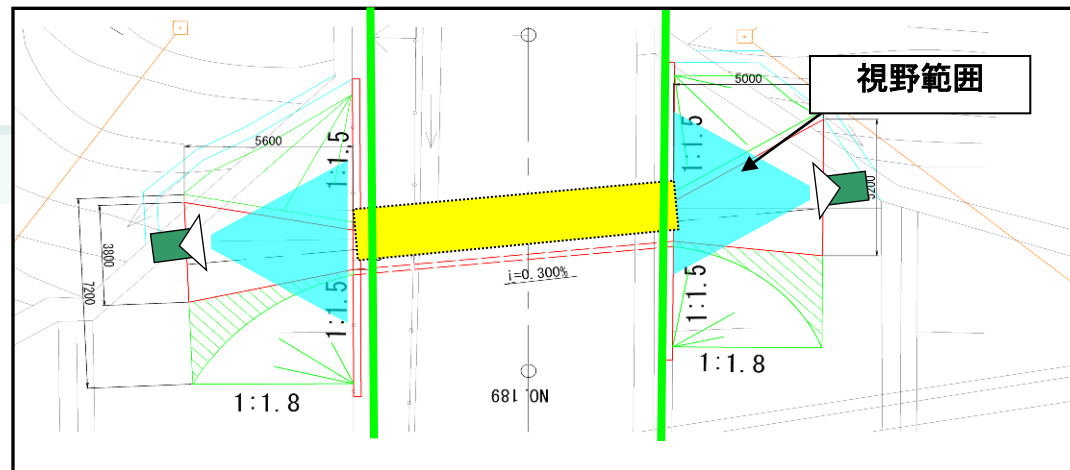


道路下横断路新設箇所のモニタリング調査

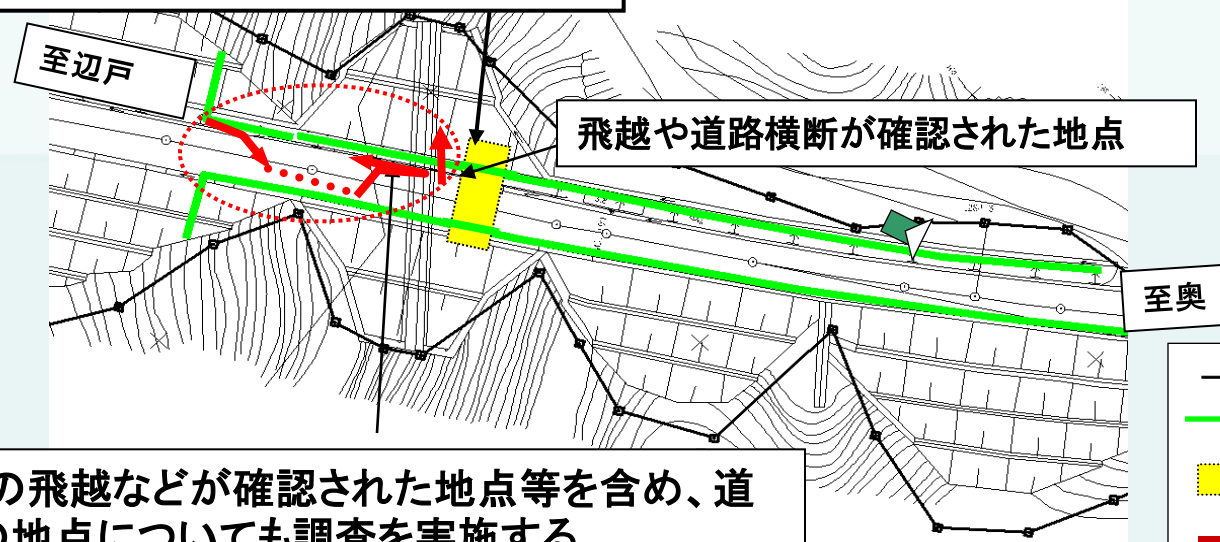
現在、道路下横断路新設箇所のモニタリング調査を実施中。



道路下横断通路新設



道路下横断路新設箇所の両端にカメラを設置



フェンスの飛越などが確認された地点等を含め、道路沿いの地点についても調査を実施する。

—凡例—

- : クイナフェンス
- : クイナトンネル
- : ヤンバルクイナ確認地点

クイナフェンス及び横断函渠による移動分断改善効果(3.8kP)

●クイナフェンスによる道路侵入率は低減しているが、平成22年1月に移動分断対策で横断函渠を設置した。横断函渠設置後は平成22年度に計16個体(横断函渠周辺での全確認数129個体の約12%)、平成23年度に計17個体(横断函渠周辺での全確認数57個体の約30%)の横断函渠通過が確認され、ロードキルの不安なく移動分断の影響改善を図ることが出来た。

